

とちぎデジタル戦略(概要)

とちぎデジタル戦略は Society5.0を見据え、様々な立場の方々と共に取り組んでいく本県デジタル化の指針となるものです。

現状と課題



様々な分野でデジタル化が進む

- ・スマートフォン
- ・AIスピーカー
- ・スマート農林業

一方で課題も…

デジタル化の課題

- ・悩みを抱えている人や企業と、解決する能力・意欲のある人や企業が結びついていない
- ・国や自治体、企業が持っているデータがあまり活用されていない
- ・デジタルトランスフォーメーション(DX)を進める人材が不足
- ・行政のデジタル化の遅れ

など



4つの戦略

戦略1 「デジタルで問題を解決する場」をつくる

- ・地域課題とデジタルによる解決手法をマッチングする仕組み「デジタルハブ」の創設

戦略2 安全・安心にデジタルが使える環境をつくる

- ・オープンデータをはじめとしたデータ利活用の推進
- ・5G等の通信環境の整備
- ・サイバーセキュリティの確保
- ・誰もがデジタル化の恩恵を受けることができる「インクルーシブなデジタル社会」づくり

戦略3 デジタルで人材を育てる・呼び込む

- ・データサイエンティストなどデジタル人材の育成
- ・テレワーカー等の本県への呼び込み

戦略4 行政のデジタル化を加速させる

- ・行政手続のオンライン化の推進
- ・住民の利便性を高めるマイナンバーカードの活用
- ・データに基づく施策立案(EBPM)の推進
- ・とちぎの魅力を届けるデジタルマーケティングの推進

目指す社会



経済発展と社会課題の解決を両立し、人は単純な労働から解放され、より人と人がつながることができる社会へ

みなさんの知恵と想いをフル回転させ、デジタルを巧みに取り入れた「とちぎ発」「栃木方式」などと言われるような新たな仕組みや価値を生み出していきましょう!

